

皮膚疾患分野

(重症型) 扁平苔癬

1. 概要

扁平苔癬は、手背、四肢、陰部に多角形の扁平隆起性の紫紅色調の局面が慢性に経過する疾患で組織学的にも特徴のある疾患である。口腔粘膜にも発症し白色網状、レース状病変が認められ難治性糜爛、脱毛、爪の委縮、脱落などの変形が見られなど日常生活に支障をきたす難治性疾患である。ウイルス感染症、金属アレルギー、薬剤アレルギーなどが原因であることもあるが、原因不明の本態性扁平苔癬が最も多い。口腔粘膜の扁平苔癬は粘膜の角化を伴い白板症を発症して癌化することが知られている。また、特に扁平苔癬は皮膚科特定疾患Ⅰとして指定された難治性疾患であり口腔内の糜爛、潰瘍の非常に強い疼痛により、患者は様々な肉体的苦痛、精神的苦痛を受ける。

2. 疫学

扁平苔癬 罹患率 0.1% 重症型扁平苔癬不明

3. 原因

ウイルス感染症、金属アレルギー、薬剤アレルギーなどが原因であることもあるが、原因不明の本態性扁平苔癬が最も多いと考えられている。

4. 症状

手背、四肢、陰部に多角形の扁平隆起性の紫紅色調の局面が慢性に経過する。口腔粘膜にも発症し白色網状、レース状病変が認められ難治性糜爛がみられる。また、脱毛、爪の委縮、脱落などの変形が見られ、日常生活に支障をきたすことも多くある難治性疾患である。

5. 合併症

C型肝炎、金属アレルギーなど。

6. 治療法

ステロイド外用、内服、免疫抑制薬外用、内服、歯科金属除去など。

7. 研究班

重症型扁平苔癬の病態解析及び診断基準・治療指針の確立班